



会長あいさつ

日頃より当協会の活動に多大なるご理解ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

令和2年を迎えてからの、世界的に猛威を振るう新型コロナウイルス感染拡大の影響は、グローバル化といわれた昨今が懐かしく思えるくらい大きなもので、様々な事業が中止になっただけでなく、国際交流という言葉自体も冷えてしまったように感じられる程です。

コロナ禍で先行きの見えない不安が世界全体を覆う中ではありますが、そんなときこそ「困ったときはお互い様」という相互扶助の観点から、日本に居住している外国籍の方々の支援、異文化理解、当市の国際親善姉妹都市であるアメリカ合衆国テネシー州オークリッジ市との交流等を進めていく所存でございます。

この新型コロナウイルスの出現により、人類の新たな叡智が試されようとしているようにも思われます。ウィズコロナ時代の日常の中、新しいグローバル化とは何なのかを当協会でも模索し続け、これからの国際交流、相互理解を皆様と共に創り上げていきたいと思っておりますので、これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

那珂市国際交流協会会長 大和田 和男

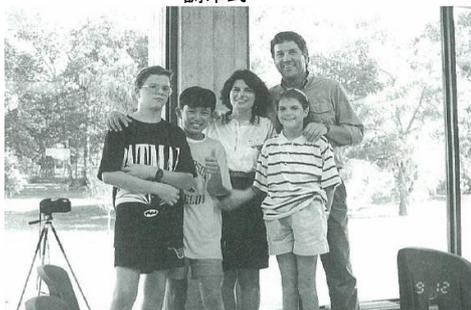


マスク包装中

令和2年は協会設立及び国際親善姉妹都市盟約締結30周年です



調印式



第2回派遣生徒のホームステイの様子

1990年に当協会が設立され、また、オークリッジ市との国際親善姉妹都市盟約が締結されてから今年で30周年になります。日本原子力研究所那珂研究所（現：那珂核融合研究所）とオークリッジ国立研究所との交流が契機となり始まった両市の交流は、中学生の交換交流のみならず、女性団体、市民団体の交流へと広がり、現在に至っています。

中学生交換交流は、1991年の第1回の派遣から25回235人を派遣し、オークリッジ市からは24回224人を受け入れました。今年は新型コロナウイルスの影響により、30周年を記念する行事が中止となりましたが、この状況が落ち着いたら、改めて記念事業を行う予定です。

オークリッジ市の中学生に手作りマスクを贈りました

今年度のオークリッジ市との中学生交換交流事業は、新型コロナウイルスの影響により残念ながら中止になりました。しかし、このコロナ禍の状況で何かできることはないかと検討し、オークリッジ市の中学生約1,400人に、友好の証として、また、感染拡大防止に役立つよう、和柄の布マスクを作製し送付することとしました。また、協会ホームページやフェイスブックを通してマスクの寄付を呼び掛けたところ、たくさんの方々からご協力をいただき、協会で用意した布マスクと併せて2,216枚のマスクとマスクケース100枚を送付することができました。ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。



キルティ工房での製作のようす

今回のマスク等の送付が、オークリッジ市と那珂市の絆を一層深めることを期待し、一日も早い新型コロナウイルスの収束によりオークリッジ市の皆さんとの交流が再開できることを楽しみにしています。

布マスク作製にご協力いただいた方々

那珂つるしびなの会の皆様
キルティ工房様
国際交流サポート委員の皆様

マスクを寄贈いただいた方々

那珂市建設業協同組合様
上田和江様 木名瀬貴久子様
小林文子様 中山友子様 他1名様
ヨシザワ印刷社様（マスクケース）



那珂市建設業協同組合の皆さん



大学生がお手伝いに来てくれました



出来上がったマスク

《那珂市国際交流協会事務局》

〒311-0192 茨城県那珂市福田1819-5（那珂市市民生活部市民協働課内）

電話番号:029-298-1111(内線263) FAX 番号:029-352-1021

ホームページ: <http://www.ieanaka.jp/> Facebook も随時更新中!

Eメールアドレス: shimin-k@city.naka.lg.jp



那珂市国際交流協会では、会員及びサポート委員を随時募集しています。年会費:2,000円(個人)、10,000円(団体)
団体会員の広告掲載を随時承っています。事務局までご連絡をお願いします。(掲載無料)



根本正顕彰会は、日本の社会のより良い発展を目指して精一杯生きた根本正の精神を学ぼうとして平成9年10月に設立し、令和2年4月現在74名の会員がいます。

根本正顕彰会



木内酒造合資会社
KIUCHI BREWERY

東海那珂ロータリークラブ



会長 植野 重男
幹事 大越 正彦